



2023年11月13日

各位

会社名 株式会社 成学社
代表者 代表取締役社長 永井 博
(コード：2179、東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役経営企画部長 山本 一之
TEL. 06-6373-1571

2024年3月期第2四半期の業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2023年5月15日に公表いたしました2024年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2024年3月期第2四半期累計期間(2023年4月1日～2023年9月30日)の業績予想値と実績値との差異について

(1) 連結業績予想値と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	6,070	△24	△32	△54	△9.74
当期実績 (B)	6,032	98	98	42	7.59
増減額 (B-A)	△38	122	131	96	
増減率 (%)	△0.6	—	—	—	
(参考) 前期第2四半期実績 (2023年3月期第2四半期)	5,806	60	56	46	8.36

(2) 個別業績予想値と実績値との差異

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	5,844	7	△14	△2.60
当期実績 (B)	5,799	124	68	12.40
増減額 (B-A)	△44	117	83	
増減率 (%)	△0.8	—	—	
(参考) 前期第2四半期実績 (2023年3月期第2四半期)	5,597	36	25	4.54

2. 差異の理由について

<連結業績>

売上高は、ほぼ予想値のとおり推移いたしました。利益面では、個別指導部門の指導比率の向上やクラス指導部門の教室運営の効率化等による人件費の低減、国の電気・ガス価格激変緩和対策事業による水道光熱費の低減等により、営業損益は予想値を大幅に上回りました。その結果、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに黒字に転換いたしました。

<個別業績>

個別業績についても、連結業績と同様の差異が生じております。

なお、2024年3月期の通期業績予想については、当社グループを取り巻く今後の事業環境を鑑みて、現時点では2023年5月15日に公表いたしました内容に変更はありません。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上